

官報

號外

明治二十九年三月七日 土曜日 內閣官報局

○第九回 貴族院議事速記録第二十九號

明治二十九年三月五日

衆議院議長楠木正隆

明治二十九年三月六日(金曜日)午前十一時一分開議

議事日程 第二十九號 明治二十九年三月六日
午前十時開議

貴族院議長侯爵蜂須賀茂韶殿

- 第一 伯爵酒井忠道君請暇ノ件
- 第二 請願委員長公爵二條基弘君報告
- 第三 治安警察法案(政府提出)
- 第四 害蟲驅除豫防法案(政府提出衆議院送付)
- 第五 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉
- 第六 復祿及復族祿ノ請願
- 第七 海外貿易上ノ觀察實習等保護獎勵ノ請願
- 第八 郡換ノ請願
- 第九 郡獨立ノ請願
- 第十 朝鮮國貿易品積卸港開設ノ請願
- 第十一 地價修正ノ請願
- 第十二 特別地價修正ノ請願
- 第十三 官線鐵道事業改良ニ關スルノ請願
- 第十四 軍人軍屬從軍病死者遺族扶助料及一時賜金ニ關スルノ請願
- 第十五 電信局設置ノ請願
- 第十六 古社寺保存會組織ニ關スルノ請願

第一讀會(前會)

第一讀會

會 議

會 議

會 議

會 議

會 議

會 議

會 議

會 議

會 議

會 議

會 議

會 議

會 議

會 議

會 議

會 議

會 議

會 議

會 議

會 議

會 議

會 議

會 議

會 議

○副議長(侯爵黑田長成君) 昨五日本院ニ於テ可決ニナリマシタル明治二十九年年度歲入歳出總豫算案並ニ明治二十九年年度各特別會計歲入歳出豫算案、豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲナスヲ要スル件、是ダケノ政府提出案ハ即日內閣總理大臣ヲ經由シテ裁可ヲ奏請シ及可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知致シマシテゴザイマス、同日田中芳男君ヨリ三十九名ノ贊成ヲ以テ博物館設立ノ建議案ヲ發議セラレマシテゴザイマス、同日衆議院ヨリ政府提出營業稅法案ヲ受領致シマシテゴザイマス、本院ノ回付ニ係ル國立銀行營業滿期前特別處分法案ニ關シマシテ昨五日衆議院ヨリ通牒ヲ受領致シマシタニ依ッテ書記官長ヲシテ朗讀致サセマス

○子爵由利公正君(子爵由利公正君演壇ニ登ル) 二條君不參ニ附キマシテ本員代理ヲ致シマス、二月十三日以來受領致シマシタル請願書ハ百八十九通デアリマス、即チ第五回ノ文書表中議院ノ會議ニ付スベシト議決シマシタモノガ此文書表ニアリマス通デアリマス、第五百二十二號復祿ノ件、第五百五十五號モ矢張復祿ノ件、第五百五十八號復祿ノ件、第五百五十九號復祿ノ件、第六十號復祿ノ件、第六十一號復祿ノ件、第六十二號復祿ノ件、第六十三號復祿ノ件、第六十七號復祿ノ件、第六十八號復祿ノ件、第六十九號復祿ノ件、第七十號復祿ノ件、第七十一號復祿ノ件、第七十二號復祿ノ件、第七十三號復祿ノ件、第七十四號復祿ノ件、第七十五號復祿ノ件、第七十六號復祿ノ件、第七十七號復祿ノ件、第七十八號復祿ノ件、第七十九號復祿ノ件、第八十號復祿ノ件、第八十一號復祿ノ件、第八十二號復祿ノ件、第八十三號復祿ノ件、第八十四號復祿ノ件、第八十五號復祿ノ件、第八十六號復祿ノ件、第八十七號復祿ノ件、第八十八號復祿ノ件、第八十九號復祿ノ件、第九十號復祿ノ件、第九十一號復祿ノ件、第九十二號復祿ノ件、第九十三號復祿ノ件、第九十四號復祿ノ件、第九十五號復祿ノ件、第九十六號復祿ノ件、第九十七號復祿ノ件、第九十八號復祿ノ件、第九十九號復祿ノ件、第一百號復祿ノ件、第一百零一號復祿ノ件、第一百零二號復祿ノ件、第一百零三號復祿ノ件、第一百零四號復祿ノ件、第一百零五號復祿ノ件、第一百零六號復祿ノ件、第一百零七號復祿ノ件、第一百零八號復祿ノ件、第一百零九號復祿ノ件、第一百一十號復祿ノ件、第一百一十一號復祿ノ件、第一百一十二號復祿ノ件、第一百一十三號復祿ノ件、第一百一十四號復祿ノ件、第一百一十五號復祿ノ件、第一百一十六號復祿ノ件、第一百一十七號復祿ノ件、第一百一十八號復祿ノ件、第一百一十九號復祿ノ件、第一百二十號復祿ノ件、第一百二十一號復祿ノ件、第一百二十二號復祿ノ件、第一百二十三號復祿ノ件、第一百二十四號復祿ノ件、第一百二十五號復祿ノ件、第一百二十六號復祿ノ件、第一百二十七號復祿ノ件、第一百二十八號復祿ノ件、第一百二十九號復祿ノ件、第一百三十號復祿ノ件、第三十三號電信局設置ノ件、第二百六號古社寺保存會組織ノ件、第二百八號復祿ノ件、第二百十號復祿ノ件、以上六十五通其他ハ總テ議院ノ會議ニ付スルヲ要セシト議決シマシタモノデアリマス、又第六回分ノ文書表中議院ノ會議ニ付スベシト議決シマシタモノハ十九通デアリマス、一々讀ミマスノモ甚ダ複雜ノシマスカラ略シマス、此十九通ノ分ハ殘ラズ文書表中ニアリマス譯デアリマシテ、何レモ御手許ニ廻ッテ居リマス、文書表ノ通デアリマスカラ何卒委員ノ決議通御採可アラントヲ希望致シマス

貴族院議事速記録第二十九號 明治二十九年三月六日 議長ノ報告

三三

○子爵谷干城君 一寸質問ヲ致シマス、此日程ニ上テ居ル第九ト云フ所ニ郡獨立ノ請願ト云フモノガアリマスルガ、此郡獨立ノ請願ハドウ云フノデアリマスカ、鳥取縣アタリニコンナコトガ……

○子爵由利公正君 一寸何號デアリマスカ

(子爵谷干城君) 丁度日程ノ第九デス」ト述フ

上ニ號ガ有リマスガ何號……

(子爵谷干城君) 第九トシテ郡獨立ノ請願ト云フノデアリマス

ア、此何ノデアリマスカ、是ハ鳥根縣デアリマス、一寸讀テ御聽ニ入レマ

右ノ請願ハ鳥根縣仁多郡ハ大原郡ト合シテ一行政區ノ下ニ在リト雖歴史ノ沿革土地ノ狀況及人情等自カラ別天地ヲ成シ他郡ト同一ノ制度ノ下ニ立ツヘカラサルモノアリ殊ニ郡役所ノ所在懸隔シテ往來ノ不便アルノミナラス郡衙ト町村トノ關係上不都合ヲ生スルコト尠カラズ兩郡ノ關係ニ於ケルモ今後自治機關ノ整備スルニ隨ヒ益々軋轢ノ度ヲ高メ本郡民ノ不幸ヲ增加スヘシ而シテ本郡ハ獨立自治ノ體ヲ具フルニ足リ大原郡モ亦獨立自治ノ資力ニ乏シカラス故ニ本郡ノ爲獨立郡制ヲ施行セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

右ノ次第デアリマス

(子爵谷干城君) 是ハドウ云フ事デアリマスカ、私ニハ分ラヌガ私ノ手許ニ……」ト述フ

(男爵西五辻文伸君) 唯今谷君ノ御質問ハ日程ノ場所ニ行テ御聽ニナツタラ如何デアリマスカ」ト述フ

今ノハ報告ダケデアリマス

○副議長(侯爵黒田長成君) 谷子爵ニ申入レマスガ唯今ノ御質問ハ唯今デモ後程ニ御廻シニナツテモ、ドチラデモ苦シカラヌト思ヒマス

○子爵谷干城君 私人便利ノタメニ今何ツテ置イタラ宜カラウト思ヒマス

○副議長(侯爵黒田長成君) 宜シウゴザイマス

○子爵谷干城君 一向是非ハ分ラヌケレドモ電報ヲ以テ此事ハ甚ダ困ルト言ツテ來タ、ケレドモ固ヨリ是非ハ私ハ一向研究ヲセヌカラ分ラヌガ定メテ御研究ノ上、此請願ノ通テ宜イト御決定ニナツタノデアリマスカ

○子爵由利公正君 ヲレハ斯ウ云フ譯デアリマス、即チ請願委員ト云ツテ別段研究ヲシテト云フ道具モ持タズ、先例ガ斯ウ云フモノハ出シテアリマスカラ先例ニ從ツテ政府ニ出スト云フコトニシマシタ譯デ其地方ニ就イテドウ斯ウト云フ論マデハ致サヌノデアリマス、唯文章ニ就キマシテ見マスダケデ、先例ガ斯ウ云フノハ出シテアリマスカラ……

(子爵谷干城君) 實際行ハレルト云フコトデアアリマセヌカ」ト述フ

別ニ認メハ附キマセヌ

(子爵谷干城君) 十分ニ認メガ附イテ御出シニナツタノデアアリマセヌカ」ト述フ

カ」ト述フ

サウデゴザイマス

(子爵谷干城君) 宜シウゴザイマス」ト述フ

○副議長(侯爵黒田長成君) 次ハ治安警察法案、政府提出、第一讀會、前會ノ續ヲ開キマス

○兒玉淳一郎君 本員ハ政府委員ニ質問ガアリマス、宜シウゴザイマスカ

○副議長(侯爵黒田長成君) 宜シウゴザイマス

○兒玉淳一郎君 先ツ確メテ置キマスガ昨日政府委員ノ松岡君ガ此修正ハ全ク政府同意デアアルト仰シヤリマシタガ、ウレニ相違ハアリマセヌカ

○政府委員(小野田元熙君) 兒玉君ノ御尋デゴザイマスガ、政府ハ之ニ同意ヲ致シマシタ

(兒玉淳一郎君) 全ク……」ト述フ

全ク同意ヲ致シマシタ

○兒玉淳一郎君 尙ホ序ニ質問ヲ致シマス……

○副議長(侯爵黒田長成君) 宜シウゴザイマス

○兒玉淳一郎君 三條ノ中デアリマスルガ「一定ノ生業ヲ有セス」ト云フ是ガ一箇條、其他段々アリマスガ、ウレ等ニ對シテ「左ノ各項ノ……」斯様々々ト書イテアリマスガ昨日松岡君ノ御話デハ「一定ノ生業ヲ有セス」ト云フコトニ就イテハ、ハツキリトシテ御答ハ本員ハ承リマセヌ、併シ唯公債證書位持ツテ樂ニ暮シテ居ル者ハ一定ノ生業トハ言ハレヌト言ハレタ、併ナガラ「一定ノ生業ヲ有セス」ト云フ僅ナ字デハ甚ダ不安心ト思ヒマス、隨分金持ノ人ハ……大阪杯ニ行ツテ見ルト樂ニ暮シテ居ル、其人杯ニ對シテ……遊シデ居ル人ニ對シテ此法律ガドウ云フモノデアリマセウカ、承リタイ、其御答ヲ伺ツタ上デ又御尋ヲシマスガ先ツツレダケラ

(政府委員小野田元熙君) 演壇ニ登ル

○政府委員(小野田元熙君) 唯今兒玉君ノ御問ニ御答ヲ致シマスガ「一定ノ生業ヲ有セス」ト云フコトヲ御問ニナリマシタヤウニ承知致シマシタガ……

(兒玉淳一郎君) 左様」ト述フ

此事ハ松岡政府委員ヨリ申上ゲマシタ通、委員會ニ於キマシテ「徘徊浮浪」ト云フコトヲ削リマシタガ、意味ハ矢張「一定ノ生業ヲ有セス」ト云フコトハ何ノ職業モ有セヌ者ト云フコトヲ專ラ含ンデ居リマス、徘徊浮浪ト云フコトヲ茲ニ冠セテ置キマス、ウレノミデハ少シ區域ガ狭クナリマスカラ、ウレデ之ヲ削リマスコトニ同意ヲ致シマシタノデアリマス

○兒玉淳一郎君 附キマシテハモウ一言申シタウゴザイマス、此場合ハ言フ場合カ知ラヌガ議長ニ御尋ヲ申シマス、本員ハ此案ハ誠ニ不完全ナ案ト思ヒマスカラ、ウレニ附イテ再調査ノ意見ヲ持ツテ居リマスガ、此場合デ申シテ宜シウゴザイマスカ、如何ナモノデアリマスカ、委員付託ノコトハ……

○副議長(侯爵黒田長成君) 兒玉君ノ御述ベニナラウト申スコトハ此案ヲ特別委員ニ再調査ラ……

(兒玉淳一郎君) 左様、其事ヲ言ヒタイノデアリマス」ト述フ

唯今御述ベニナツテ宜ウゴザイマス

(兒玉淳一郎君) 演壇ニ登ル

○兒玉淳一郎君 諸君、御存ノ通此法案ハ保安條例、豫戒令ヲ廢シテ其者ニ代ユルニ此案ヲ以テシタイト云フ御主意ト見エマス、第三條ノ點ハ豫戒令ノ點ニ重モニ當ルコト、思ヒマス、附キマシテハ本員ノ考デハ此三條ハ實ニ酷

イ殘酷な法ヲ設ケラレタモノト思ヒマス、先ヅ第一ニ申シマスレバコノ人ノ居所ヲ制限スルト云フ事杯ハ容易ナラヌ事、是マデノ豫戒令ニモサウ云フ事ハナイ、併ナガラ松岡君ノ昨日ノ御話デハ制限スルト云フ、ドノ位ナ事ヲナサルノカト言フ、マラ二箇所程御答ニナラヌ、併ナガラ甚ダ其要領ヲ得ナイ制限ト云フ文字ハ之ヲ解釋スルニハ解釋ノ仕方ニ依テハ一定ノ場所ヲ指定スル事ニモ爲リマス、若一定ノ場所ヲ指定サレタト云フコトナラバ其指定サレタ人ハ迷惑至極デアリマス、本員ノ考ヘマスニハ先ヅ斯ウ云フ……何等ノ辭柄ヲ以テモ人ニ財物ヲ強請シタリ或ハ他人ノ公私ノ業務ニ干渉シ、妨ヲシタリ他人ノ會シタ集會ニ立入り妨害ヲシタリスルト云フノハ極悪イ、惡イハ惡イガ斯ウ云フ人ハ無分別ノ人ガスルコトデ私共デ言フマライタツ息子ヲ持マモ同ジコトデ成ルベクサウ云フ人ハ、親ハ憎ウテモ善ウナラセタイ、改良サセタイ、今マデ惡イ事ヲシタノヲ止メサセタイト云フ心ヲ以テ此處ヘ來イ惡イ事ヲシテハナラヌゾト呵ルノデアアルガ此法デ見レバ貴様ハアツチヘ行ケ、ト云フヤウナ法律デアアル、サウ云フ殘酷な法律ハ恐ラク有ルマイト思フ、併ナガラソレモ刑事ノ罪ナラバ仕方ガナイガ是ハ刑事ニ觸レル前ノ事デアアル、サウ云フ惡イ事ヲサセナイヤウニ豫防ノ方法デアアル、然レ此法ヲ設ケタ主意ヲ見レバ本員ガ政府委員ヘ御尋シタヤウニ一定ノ生業ヲ有セズ平素粗暴ノ言行ヲ事トシ他人ノ身體財產ニ危害ヲ加フル云々ト斯ウ云フ箇條ガアリマスガ是等モ法文ガ甚ダ粗漏デアアル、無論本員ヲモ人ノ惡イ事ヲシテ刑ニナルノハ好マヌカラ豫防スルニハ御同意デアリマス、サリナガラ斯ノ如ク不完全ナ法律デアアル、先ヅ一例ヲ舉ゲテ申シマセウ茲デ此法ヲ行フマナラバ政府モ却テ御困リダラウト思フ、況ヤ人民ハ甚ダ困マル、假ニ本員ガ警察官ニ爲マト假定シテ例ヲ舉ゲマス、此三箇條ヲ行フマナラバ有テ之ヲ訴ヘル本員ガ警察官ニ爲マテ假ニ此事ヲ行フ、サウシテ一定ノ場所ヲ指定シテ、飛ンデモナイ處ヘ遣マテ是カラ外ヘ出ルコトハナラヌゾト云フ曉ニハ其人ハ非常ニ難儀スル、政府ニ於テモ本員ガシタ事ヲ兒玉警察官ニシタラバ飛ンデモナイ事ヲシタ政府デハサウ云フ精神デハナイニ貴様ハドウ云フ譯デアリシタカト言フマラ本員ハ斯ウ答ヘル制限スルト云フ箇條ガアリマスカラ法文ニ制限ヲスルト云フ意味ヲ用ヒタノガ不法デアアルカ私ニ是ダケ御任セニナラテ居ルカラ政府ガサウ云フムツカシイコトヲ言フマラ私ハ法文ニ依テシタノデアアルト斯ウ答フル積デアアル、サウナレバ政府モ御困リナサルダラウト思フ、人民ノ方デ云フテモ飛ンデモナイ處ニ指定サレテ其處ニ逐込マレテ隨分困マルモノデアアル、業ニ就イテ生活ヲシテ行カウト云フニモ妨ニ爲ル、故ニ是等ニ附イテハ能ク考ヘネバナラヌ字ニ書ケバ僅カナ事デアアルガ行フ日ニハ容易ナラヌ事デアラウト思ヒマス、其他色々アリマスガ是ガ本案ニ附イテノ最モ大不服ノ箇條デアアル、故ニ本員ハモウ一遍委員ニ付託シテモウ一遍調査シテ善イモノニ爲シタイト思フノデアリマス、其付託スルコトハ委員ノ數杯ハ其場合ニ行フテ申上ゲマスガ先ヅ此儘デ二讀會ニ移マテ進ムヤウデアハ國ノ不幸ト思ヒマスカラドウカ再付託ノコトニ御同意ヲ願ヒマス

(村田保君演壇ニ登ル)

○村田保君 本員ハ大體ニ附イテ意見ヲ述ベマス、本員ハ此法案ノ特別委員ノ一人デゴザイマス併ナガラ最初ヨリ此案ニ附キマシテハ反對ノ意見ヲ有シ

テ居ル者デゴザイマス、昨日榎村委員長カラ致シマシテ委員會ノ結果ヲ御報道ニナリマシタガ其中ノ御報道ニナリマシタ事ト申スモノハ唯豫算委員ノ者ガ此委員會ニ多クアツテ豫算委員ト云フモノハ續イテ居ルカラシテ此委員會ガ大キニ延引シタ其他段々修正ニナリマシタ所ヲバ略シ述ベラレマシタガ委員會ニ於キマシテ委員ガ此大體ノ會議ニ於キマシテ如何ニ決議シテ居ルト云フ所ノ結果ヲ御報道ハ全クゴザイマセヌ、諸君モ其邊ハ御分リニナルマイト恐ラク存シテ居リマス、ソレデ委員會ニ於キマシテソレガ通過致シマシタ譯ト申シマスモノハ委員ニ於キマシテ三人ガ不同意、反對説ガ三人ゴザイマシテ四人ト申シマスモノハソレノ此所ニゴザイマス通、訴願法ヲ之ニ加ヘレバ宜シイ、訴願法ヲ加ヘレバ贊成ヲスルト言フノガ四名ゴザイマシテ、他ノ一人ハ此儘全ク贊成ト云フコトニナラシテ居リマス、ソレデ此訴願法ヲ加ヘレバ贊成スルト云フコトデソレガ多數ヲ占メテ委員會ヲ通過ヲ致シテ居ル譯デアリマス、本員ハ委員會ニ於キマシテ反對ノ事ヲ述ベマシタガ遺憾ナガラ少數ニナリマシタ、唯今之ヲ議場ニ出マシテ本員ガ縱令之ヲ述ベマシタ所ガ此案ハ政府案デゴザイマスカラ恐ラクハ多數ノ御贊成ヲ得ルコトハ覺束ヌトハ存シマスガ本案ハ段々不穩當ナ處ガゴザイマス、ソレノミナラズドウモ不必要ト云フコトニ深ク感シテ居リマスカラシテ一應議場ニ本員ノ卑見ヲ述ベマシテ尙ホ御一考ヲ煩ハシタイト存ズルノデ、此案ト申シマスモノハ御覽ノ通全ク保安條例ト豫戒令ヲバ二ツ合セテ一ツノモノニシタニ相違ナイ、一口ニ申セバ保安條例ト豫戒令ノ燒直シト云フテモ宜イ固ヨリ多少修正増減ハゴザリマスルケレドモ其精神ニ至ラバ保安條例ト豫戒令デ、今日世上デ保安條例豫戒令ハ誰モ知ツテ居ル、ソレバ殊更ニ一ニ合セテ名前ヲ變ヘテ治安警察法ト改名ヲシテ出ス必要ガ何處ニアルカ、何ニモソレノ必要ハナイヂヤナイカ、政府委員ニモ委員會デ尋ネマシタ何ノ必要ガアツテ今日之ヲ出シタカト尋ネマシタラバ政府委員ノ申スニハ八年々衆議院カラ此廢止論ガ出ル、ソレガウルサイカラ出スト云フヤウナ主意デアアル、ソレデ見マスト政府モ餘リ必要トハ感シテ居ナイニ違ヒナイ、況ヤ此保安條例並ニ豫戒令廢止論者ニ至テハ最モ不必要、不必要ドコロデハナイ實ニ惡法ト言フテモ宜イデス、ソレノミナラズ保安條例ヲバ極ク金科玉條ノヤウニ思フテ人デモ不必要ト認メル、現ニ委員ノ一人ハ保安條例ヲ最モ主張スル人デアアルガ併ナガラソレガ不必要ト言フテ現ニ反對ノ意見ヲ表シテ居ル人ガ有ル、其位ナ案デアアルデス、ソレデ委員會ニ於キマシテ唯今モ述ベマシタ通訴願法ヲ加ヘレバ贊成ヲスルト云フコトニナリマシテ遂ニ此六條ニ訴願ヲ許スト云フコトヲ加ヘタ、ケレドモ是ハ三條ト五條ダケニ過ギナイ、一部訴願ヲ許スト云フコトデスガ、訴願ヲ許スト云フケレドモ是モ本員杯ハコンナ所ニ訴願ヲ許シタ所ガ一向效力ハナイト思フ、ナゼト云フニ茲ヘ參テ訴願ヲ許ス、サウシテ訴願ヲ許シタ者ハ執行ヲ停止スルト云フ事ガアレバソレハ成程訴願ヲ許シタ效力ガアリマセウガ執行ヲ停止スルト云フ事ガナケレバ執行ハ構ハズスルト云フ事ニ爲ル、訴願ハ許シテモ執行ハ構ハズスルト云フ事ニ爲ル、居所ヲ制限スルト云フ事ガアル、居所ヲ制限スルト云フ事ヲモウ一ツ言直セバ退居サセルト云フ事ニ爲ル、退居サレタ者ガ訴願ヲスルコトガ出來ル、併シ訴願ハ許シテモ矢張執行ハ停止シマセ

又、矢張退居シテ仕舞ウト云フ事ニ爲レバ茲テ訴願法ヲ加ヘテモ一向效ノナ
 イ事ニ爲ル、六條ノ修正杯ト云フモノハ、餘程奇妙ナ修正デス、ソレノミナラ
 ズ唯今兒玉君ガ是ハ實ニ苛酷ナ法ダト云フコトヲ言ハレマシタガ苛酷ナ法ニ
 違ヒナイ、又苛酷ナルガ妙ナノテ殘酷ナルガ妙ナノデス、固ヨリ保安條例杯
 ト云フモノハ殘酷ナ法ニ違ヒナイ、居所ヲ制限スル杯ト云フ事ハ殘酷ナコト
 ハ餘程殘酷ニ違ヒナイト本員杯信シテ居ルガ、ソレガ妙ナノデス、此朱字デ
 加ヘマシタ「他人ノ身體若ハ財產ニ危害ヲ加フルノ虞アル者」云々杯ト云フ
 コトハ能ク平心ニ御覽ニナレバマルデ竹ニ木ヲ接イダヤウナ修正デス、ナゼ
 ト言ヘバ斯ウミ云フ者ニ附イテハ斯ウ云フ命令ヲ爲ス、其一二三トアル、
 一ニハ「財物ヲ強請スルノ所爲」二ニ至リテハ「強迫若ハ侮辱シ又ハ其ノ自
 由ヲ妨害スルノ所爲」ソレカラ第三ニハ「他人ノ開設セル集會ヲ妨害スルノ
 所爲」トカスウ云フ事デス、斯ウ云フ事ハ何モ別ニ財產身體ニ危害ヲ加ヘル
 虞ノアル者ニ向テ命令ヲ加ヘル杯ト、サウ云フコトハ實際無イガ、此文面デ
 見レバサウ云フ者ニ御命令ヲ加ヘヌナラヌト云フ實ニ木ニ竹ヲ接イダヤウナ
 事ニ爲ル、マア是等ハ些細ナ事ヲ本員等ハ大體ニ附イテ不同意ナノデスカラ
 是等ノ些細ノ事ハ申シマセヌガ此修正杯餘程奇妙ナ修正ダト本員杯ハ思
 フ、實ハ此保安條例豫戒杯ト云フモノハ一夜作りノ法ト云フテモ宜イ、
 唯一時ノ急ヲ救フテメニ作ラヌアル、ソレ故ニ社會ガサウ云フモノ、必要
 ヲ認メヌト云フナラバ政府ハ何時取消シテモ宜イ、サウ云フ必要ガナイ時ニ
 ハ政府ハ直グ是ハ廢止セナクテハナラヌモノダト本員杯ハ思フ、ソレ故ニ是
 ハ勅令ヲ出テ居テ政府ガ自由ニ取消セルヤウニシタモノダト思フ、然ルモ此
 度之ヲ法律ニシテ仕舞フ、法律ニシテ仕舞フテ永遠保存シヤウト云フ、是ハド
 ウデゴザイマセウカ、本員杯ノ考ヘマヌルニ年々此通保安條例ト云フモノハ
 衆議院カラ廢止ト云フコトガ始終出テ居ル、ソレデ貴族院ニ於テハイツデモ
 之ヲ否決シテ居ルノデス、ケレドモ是ハ貴族院ニ於テ之ヲ否決シテ居ルカ
 ラ政府ハ之ヲ廢サナイデ宜イト云フコトハナカラウト思フ、ナゼナラバ既ニ
 是ハ勅令デアリマスカラ衆議院デハ法律案デアリマスカレドモ法律案ニモ及
 パヌト思フ、縱令建議デモ政府ハドウモ、必要ガナイト見レバ固ヨリ勅令デア
 ルカラ性質上イツデモ取消セルモノデスカラ縱令建議デモ政府ハ之ヲ取消シ
 テ宜イダラウト思フノデス、ケレドモ今日マデ年々衆議院カラ出マヌルノヲ
 茲デ否決シテ居ルカラ政府ハ貴族院ヲ恃ンテ取消サズニ居ルノダラウト思ヒ
 マスガ、ソコヘ持ッテ來テ今日此案ヲ出シタ、此法案ハ精神ニ於テハ保安條
 例ト豫戒令トノ二ツヲ寄セテモ、此二ツヲ寄セテ一ツニシヤウト云フノ
 デス、サウ云フコトヲシタラ又益々感情ヲ惡クスルダラウト思フ、縱令本院
 ハ通過シマシタ所ガ衆議院ハ黙々トシテ之ニ同意ヲ表スルコトハナイダラウ
 ト云フコトハ本員杯ハ確信シテ居リマス、ソレデドウゾ諸君ニ於カレマシテ
 モ此案ハ唯今述ベマシタ通是非今日斯ウ云フ妙ナモノヲ作り出シテ保安條例
 ト豫戒令トノ化物ノヤウナモノヲ作ッテ是非出サヌナラヌト云フ必要ノアル
 ト云フコトハ諸君モ御認メニナラヌダラウト思ヒマス、旁、以チマシテ是ハ
 是非否決シタイト云フハ本員ノ考デアリマスカラドウゾ成ルベク諸君ニ於テ
 モ本員ノ意見ヲ御贊成ヲ願ヒマス

(政府委員男爵末松謙澄君演壇ニ登ル)

○政府委員(男爵末松謙澄君) 唯今ノ村田君ノ御説ニ對シマシテ一言述べテ
 置カナクテハナリマセヌト思ヒマス、村田君ハ委員會ノ經過ノ事ニ附キマシ
 テ政府委員モ斯クミ言ウタ、或ハ之ニ反對シタ者ガ幾人有ラト云フヤウ
 ナコトヲ御述ベニナラタル中ニ開捨テニ致シ兼ネル所ガアリマスル故ニ一應
 申シマスルガ政府委員杯ガ委員會申シマシタル事ハ成ルベク其申シタル主
 意ヲ其通ニ言ウテ下サラナイト誠ニ困ルノデゴザイマス、自分ノ田ニ水ヲ引
 クト云フコトガゴザイマスルガ成ルタケ自分ノ都合ノ宜イヤウニ言ハレマス
 ルト大ニ迷惑ヲ致スコトガゴザイマス、ソレデ先般來此法ニ附キマシテ委員
 會ガゴザイマシテ私モ大概出テ居リマシテ、私モ暫ク居ナイコトモゴザイマ
 シテ其節ハ松岡内務次官ガ出テ居ラレマシタガ是トモ私ノ申シタ所ト違ヒ
 ハシナイト思ヒマス、ガ大體議ノ時ニ村田君ノ如キ説モ段々ゴザイマシ
 タ、其時分ニ當リマシテ年々衆議院カラ出テ來ルガ故ニ唯ウルサイカラト云
 フ簡單ナル事ヲ以テ政府ガ之ヲ提出致シタト云フヤウニハ述ベテ居リマセヌ
 (村田保君) 委員會ノ速記録ガアリマスカラ速記録ヲ出シテ御目ニ懸ケ
 マス(ト述フ)

ソレデ是ダケ述ベマスル所ニ於キマシテハ此案ヲ提出サレタコトニ於キマシ
 テハ新タナル事項例ハバ第四條第五條ノ如キハ今日ニ於テ最モ必要ヲ感ズル
 事デアアル、是モ村田君モ其時分ニ言ハレタ、私モサウ思フ、是ハ今日ニ必要
 ナ事デアアルト斯ウ言ハレタ……

(村田保君) 本員ハ必要ナ事トハ言ハヌ、固ヨリ本員ハ反對ヲ述ベテ居
 ル(ト述フ)

○副議長(侯爵黑田長成君) 雙方ノ御討論ハ御止メニナルヤウ……

○政府委員(男爵末松謙澄君) ……ソレデ此大體ニ附キマシテ斯様ナコトヲ
 申シマシタ、年々歳々衆議院ニ保安條例廢止ト云フヤウナ案モ出マシタノデ
 アル、又貴族院ノ議事ニ上ラタコトモアルト申シタニモ相違ナイノデアアル、
 併ナガラソレニ附イテ私共申シマシタ所ハ成程斯ノ如ク年々改正ヲ要求スル
 ニ附イテハ一概ニ其理ナイト云フコトモ言ハレナイノデアアル、今日ノ保安條
 例ヲ段々簡條々々ニ依ッテ歩ンテ行テ居ルト或ハ重複シタ事モアリ或ハ今日
 ニ於テ必要ノナイ簡條モアリマス、依ッテ最初出タ案ヲ其儘ニ徹頭徹尾保存
 セナクテハナラナイト云フコトモナイノデアアル、即チ幾分力讓ッテ改正致シ
 テモ宜イノデアアル、又或點カラ言ヘバ不必要ナル簡條モアル、而シテ其外觀
 カラ見タトキニハ隨分區々ニ涉ルコトモアルカラ是等ハ今日ノ政體ニ於テハ
 止メテモ宜イ、其他新タニ加ヘル所ノ簡條モアルカラ之ヲ提出シタト云フ
 コトヲ詳シク申シマシタノデ唯村田君ノ如クニ口輕ク五月蠅イカラト云フヤ
 ウニ一言デ抹殺サレルト云フコトハ甚ダ遺憾ニ存スルノデアリマス、ソレカ
 ラ又村田委員ガ言ハレマスニハ此ノ案ニ反對ノ人ガ三人有ラト斯ウ云フコ
 トデアリマス、成程此案ニ反對ノ人ガ有ラニ相違ナイノデアアル、サリナガラ
 村田君ガ唯今御述ベニナラヌ所デ見レバ保安條例ハ勅令デアアルカライツ廢シ
 テモ宜イ、土臺アノモノガ惡イト云フヤウナ御論鋒デアリマシタガ是ハ
 村田君ハ少シ其時分ノ異論者ノ意味ヲ矢張我田ニ水ヲ引イタヤウニ色ヲ著ケ
 テ仰シヤウタヤウデアリマス、現ニ委員ノ一人ガ此案ハ不必要デアアルト自分
 ハ認メル、其故ハ此保安條例豫戒令ノ如キハ各條必要デアアル例ハバ目下ニ必

要テナクテモ將來如何ナル事ガ起ルカモ知レヌ今日社會ノ狀勢ヲ見レバ將來此各箇條ガ必要デアルト自分ハ認メルノデアアル、ウレ故ニ今日ニ於テ之ヲ廢スルニハ及ブマイ、即チ其趣意ヲ以テ我々ハ之ニ反對スルト云フ說デアアツタノデアアル、即チ村田君トハ全ク極端ニ出デタル意味デアアリマスノデアアリマス

然ルニツレ等ノ意味ヲ能ク仰セラレズシテ村田君ノ言ハレタ所ハ少シク穩當ヲ缺クカノヤウニ思フ、然ルニ村田君ノ言ハレルノハ保安條例豫戒令ノ如キハ一夜作りノ法令デアアル而シテ勅令ヲ以テ出テ居ルノデアアル、勅令デアアルガ故ニ政府ガ之ヲ惡イト見タナラバ止メレバ宜シイ、然ルニ之ヲ止メラレナイト云フノハ其意ヲ得ナイト云フコトヲ言ハレマス、併シ勅令ト申シテモ或性質ノモノニ附イテハ法律ト同一視シナケレバナラヌモノガ有ル、是等ノモノハ最前ヨリ法律ト政府ニ於テハ見テ居リマスガ故ニサウ勝手ニ出シ入レラヌル譯ニハイキマセヌ、併ナガラツレノミナラズ政府ニ於テハ果シテ村田君ノ述ベラレタ如ク之ガ今日ニ於テ不必要ト見タナラバ或ハ出來ルカモ知レマセヌガサウ見テ居ナイノデアアル、或ル部分ハ最モ必要デアアルカラ全體ニ就イテ改正ハ出來ナイ、或ル部分ニ就イテハ全ク改正スルコトハ出來ナイト云フコトヲ信ジテ居ル以上ハ村田君ノ言ハル、適ニ出來ナイノデアアル、ウレハ全體ニ就キマシテ本員杯ノ希望致シマスル所ハ成程保安條例豫戒令ニ於キマシテモ今日ハ多少不必要ノ箇條モアリ、而シテ或ル箇條ニ於テハ足ラザル所モアルノデアアル、而シテ又先刻村田君ノ言ハレタ第三條ノ如キ事柄ト云フモノハ各國デモ之ニ似寄タ事柄ハ比々トシテ之レ有ルヤウナ譯デア是等ノ事ハ村田君ノ如キハ最モ御承知ノコトデアリマシテ全體ニ於キマシテ今日ノ場合此法案ノ通過致スコトハ最モ必要ト存ジマスルガ故ニドウゾ御贊成ニナランコトヲ希望致ス譯デアゴザイマス

○男爵渡邊清君 本員ハ村田君ノ廢案說ヲ贊成シヤウト思ヒマスガ其贊成スルニ附イテ意見ヲ述ベタイト思ヒマス

○副議長(侯爵黒田長成君) 渡邊男爵

○男爵渡邊清君 演壇ニ登ル

○男爵渡邊清君 此治安警察法ハ固ヨリ保安條例豫戒令ノ跡ヲ補備シヤウト云フ積テ出サレタノニ勿論相違ナイ、然ル所ガ本員ガ村田君ノ廢案說ヲ贊成スルト云フモノハ此保安條例豫戒令ハ無用ヂヤト言フテ贊成スルノデアハナク、元來此保安條例豫戒令ト云フモノハ村田君モ述ベラレタヤウニ其時節ガアレバ止ムベキモノデアアル、然ルニマダ本員ハ之ヲ廢スル全ク斯ウ云フモノハ不用ヂヤト云フ時期ニハマダ及ンデ居ラヌト思フ、其時期ガアレバ其時止メテ宜シイノデ、然ルニ之ヲ何等ノ意ヲ以テ警察法即チ法律ヲ以テ警察法ニ此ノ如キ制度ヲ設ケルカ本員杯ハドウモ分ラヌ殊ニ其分ラヌハ暫ク措イテ此法案ノマルデ分ラヌ事ガ大分多イノデアア三條ノ所ハ兒玉君モ述ベラレテ甚ダ奇酷ニ當ルト云フ、是ハ無理ナラヌト思フ、又四條ニ於テハ昨日モ本員一寸質問モ致シテ譯デアリマスガドウモ是杯ハ全ク本員杯ハ分ラヌ、分ラヌト云フモノハ「街頭其ノ他公衆ノ往來出入スル場所ニ於テ云々スルコトニ關シ必要ナル取締ハ命令ヲ以テ之ヲ定ムルコトヲ得」……誰ガ定メルノカ分ラヌ街頭

其他ノ公衆往來何ニスルト云フモノハ此取締ノ命令ヲ誰ガ定ムルノカ、ドウモ本員杯ハドウモ能ク分ラヌ、三條ニハ既ニ地方長官或ハ東京府デハ警視總監トアルカラ分テ居ル、併シ五條ニイッテ見ルト「警察命令ヲ以テ規定シタル事項ヲ履行セシムル爲メ行政廳ハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ左ノ處分ヲ爲スコトヲ得」或ハ此行政廳ト云フモノガ此四條ノ命令ヲ以テ之ヲ定ムルモノデアラウカト思フ然ラバ此行政廳ト云フモノハ一番此第一讀會ノ始ニ於テ本員ハ質問ヲ致シタ所ガ郡長マデノ役場ノ立テ居ル所ノ行政廳デアレバ其行政廳デヤルト云フコトデアアル、シテ見ルト是ハ郡長杯ノ定ムル法律デアアル、甚ダドウモ不完全ノ話デアアルト思フ、斯様ナ事ヲ此法律ニ定ムルト云フノハ甚ダ宜クナイデ矢張保安條例或ハ豫戒令ハ勅令デアアルケレドモ入用ノナイ機會ニハ止メテ宜イ又今マデ入用ノナイト云フコトハ本員杯モ認メマセヌカラ在テ苦シカラヌノデ、是ハ甚ダ無用ノ法律ト思フカラ本員ハ全ク村田君ノ說ヲ贊成シマス

○子爵谷干城君 簡單ニ意見ヲ述ベマスカラ是デ御許ヲ願ヒタイ

○副議長(侯爵黒田長成君) 成ルベクハ演壇ニ御出デテ請ヒタイ

○子爵谷干城君 演壇ニ登ル

○子爵谷干城君 演壇ニ登ル

○子爵谷干城君 演壇ニ登ル

○子爵谷干城君 演壇ニ登ル

○子爵谷干城君 演壇ニ登ル

○子爵谷干城君 演壇ニ登ル

○子爵谷干城君 演壇ニ登ル

○子爵谷干城君 演壇ニ登ル

○子爵谷干城君 演壇ニ登ル

レル通衆議院ノ自由黨ト政府ト相談ガ成ツテ居ルモノデアルト云フコトデア
リマスガ政府ニ於テハサウ云フコトガゴザンセウカ、本員モ谷子爵ノ唯今言
ハレタコトニ感シタコトガアリマシタカラ此法案ハ實ハ鬼ノ面ニ……鬼ニ佛
ノ面ヲ蓋フベシヤウナ法案デアアル、誠ニ緩ノヤウデ酷ノコトガアリマスカ
或ハサウカモ知レマセヌカラ今ノ事ヲ一應政府委員ニ質問致シマス
○政府委員(男爵末松謙澄君) 政府ハ法案ヲ提出致シマシタ以上ハ成ルベク
上下兩院通過スルコトヲ努ムルニ相違アリマセヌ、而シテ愈々衆議院ガ通ル
カ通ラヌカト云フコトハ村田君ノ占ガ當ルヤラ谷子爵ノ占ガ當ルヤラソコ
ハ分リマセヌガ成ルベク通過スルコトヲ便宜ト致シマス
○山田卓介君 本員ハ兒玉君ノ再付託説ニ賛成致シマス
○副議長(侯爵黒田長成君) 一應兒玉君ニ……

○安場保和君 此案ニ附キマシテハ昨日ハ缺席ヲ致シマシテ委員長ノ報告モ
一向承知ヲ致シマセヌケレドモ略々最前村田君ヨリノ演説ヲ概略ハ承知致シ
マシタガ、最前又兒玉君カラ委員ニ再付託ノ論モ出マシテ其賛成モ唯今聞
マシタガ此案ハ僅ノモノ、ヤウデアリマスカケレドモ天下人心ノ向背ニ附イテ
餘程必要ノ議案デアルト本員ハ感シマス、就キマシテハドウゾ廢棄ニナル
カ、原案ガ立ツカト云フコトハ餘程治亂ニ關係ヲ持ツコト、考ヘマスカラ
……

〔餘程仰山ナトト低聲ニ述フル者アリ〕

……餘程仰山ナト云フ非難説モアリマスカケレドモ本員ハナカク仰山ナ必要
ナ、肝要ノ議案デアルト考ヘマスカラドウゾ此議場ニ付託説杯ト云フ……其
趣意ト云フモノハ此原案又ハ修正案デハ餘程不満足ニ思フテ完全ニシタイト
云フ兒玉君ノ御精神デ是ニ賛成ノ御方モ其御精神デ誠ニ約言スレバ御尤デア
ル、ドウゾ現行シテ居ル所ノ勅令ヨリモマダ是ヲモ一層永遠ニ維持スルタメ
ニ斯ノ如キノ法律案ニナツテ居ルト云フ御認めノ御目的ハ同ジコト、考ヘマ
スカラ願ハクハ一致ニ爲ルコトヲ希望致シマスカラ願ハクハ兒玉君ノ御説ハ
御引キ下サルヤウニ致シテ一致ニ廢案説ニ御贊同ニナランコトヲ偏ニ希望致
シマス

○村田保君 尙ホ本員ハ兒玉君ニ確メテ置キマスガ再調査スルニハ元ノ委員
ニ付スルト云フ御考デアリマスカ

○兒玉淳一郎君 村田君ノ御問ガアリマシタガ自分ハ人數ノコトハ此場合ニ
申上ゲヤウト思フテ居リマシタ、同一ノ委員ニト云フコトハ申シマセヌ、前ニ
御斷リシテ置キマシタ通唯再付託ト云フコトヲ申シマシタノデアリマス

○副議長(侯爵黒田長成君) 先刻カラ兒玉君ノ再付託ノ説ニハ賛成者ガ有ツ
テ問題トナツテ居リマスカラ此際特別委員ノ人數等ノ事ヲ御發議ニナツテハ
如何デゴザイマスカ

○兒玉淳一郎君 左様ナラ前ノ委員ニモウ七名加ヘテ致シタウゴザイマス、
此選擇ハ議長ニ任セマスカ、……アツ六名デゴザイマス

○副議長(侯爵黒田長成君) 山田君ニ一應確メテ置キマスガ唯今ノ兒玉君ノ
特別委員ノ増加ノ數ニハ御同意デアアルノデスカ如何デゴザイマスカ

○山田卓介君 同意致シマス
○副議長(侯爵黒田長成君) 先ツ兒玉君ノ動議ニ就イテ決ヲ採ラウト思ヒマ

ス、兒玉君ノ動議ハ本案ヲ前ノ特別委員ニ再付託致シテ尙ホ六名ノ委員ヲ之
ニ附加ヘテ審査セシムル動議デゴザイマス、此動議ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請
ヒマス

起立者 少數

○副議長(侯爵黒田長成君) 少數デゴザイマス、最早御發議モナイト認メマ
スニ依ツテ本案第二讀會ニ移ルベキヤ否ヤノ決ヲ採リマス

○水之江浩君 村田君ノ否決説ニハ別ニ賛成ガ無イノデゴザイマスカ
○副議長(侯爵黒田長成君) ツレハ議題トナルベキモノデハゴザイマセヌ、
本案第二讀會ニ移ルベキヤ否ヤト云フ決ヲ採リマシテ移ルベカラズト決シマ
スレバ否決ニナリマスノデゴザイマス、本案第二讀會ヲ開クベシトスル諸君
ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○副議長(侯爵黒田長成君) 少數デゴザイマス、依ツテ本案ハ否決セラレマ
シテゴザイマス

○村上桂策君 一寸政府委員ニ質問致シマス
○副議長(侯爵黒田長成君) 村上君ニ御尋致シマスガ何ノ事ニ附イテ御質問
ニナルノデゴザイマスカ

○村上桂策君 本案ガ否決ニナリマシタ以上ハ保安條例ヲ豫戒令ノ如キ……
○副議長(侯爵黒田長成君) 村上君ニ御注意シマスガ最早本案ガ否決セラレ
マシタ以上ハ此議事ト云フモノハ……

○村上桂策君 私ノ質問スル所ハ今日ノ場合政府委員モ保安條例ヲ豫戒令ハ
不都合ノモノデアルト斷言ナサレタ以上ハ決シテ此儘ニシテハ置カレマイ
ト存ジマスカラ早ク改正案ヲ發布セラレンコトヲ希望致シマスノデ一應政府
ノ意志ヲ確メタイノデゴザイマス

○副議長(侯爵黒田長成君) 此際御發言ハ相成リマセヌ、次ニ害蟲驅除豫
防法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ヲ開キマス、書記官ヲシテ通譯文
ノミヲ朗讀致サセマス

(河田書記官朗讀)

害蟲驅除豫防法案
右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
明治二十九年三月二日

衆議院議長楠本正隆

貴族院議長侯爵須賀茂韶殿

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス)

害蟲驅除豫防法

第一條 此ノ法律ニ於テ害蟲ト稱スルハ農作物ヲ害スル各種ノ蟲類ヲ謂フ

第二條 驅除豫防スヘキ害蟲ノ種類及驅除豫防ノ方法ハ農商務大臣ノ認可
ヲ經テ府縣知事ノヲ定ム

認可ヲ經タル種類以外ノ害蟲發生シ急速ノ處分ヲ要スルトキハ府縣知事
ハ臨時驅除豫防ノ方法ヲ定メ之ヲ施行スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ直
ニ其ノ旨ヲ農商務大臣ニ具申スヘシ

第三條 害蟲田畑ニ發生シタルトキ又ハ發生ノ虞アルトキハ府縣知事ハ豫

メ期限ヲ定メ該田畑ノ作人ヲシテ驅除豫防ヲ行ハシムヘシ
前項ノ場合ニ於テ作人驅除豫防ヲ行ハサルトキハ府縣知事ハ市町村費ヲ
以テ之ヲ行ヒ市町村ヲシテ該作人ヨリ其ノ費用ヲ徵收セシムルコトヲ得
其ノ費用ノ徵收ニ關シテハ市制第二百二條及町村制第二百二條ニ適用ス
第四條 害蟲蔓延シタルトキ又ハ蔓延ノ兆アルトキ若クハ害蟲田畑以外ノ
地ニ發生シタルトキ又ハ發生ノ虞アルトキハ府縣知事ハ市町村費ヲ以テ
驅除豫防ヲ行フコトヲ得

第五條 府縣知事ハ前條ノ驅除豫防ノ爲ニ市町村ニ命シテ夫役ヲ市町村全
部又ハ一部ノ田畑ノ作人及所有者ニ賦課セシムルコトヲ得
夫役ノ害蟲ノ種類ニ依リテ田畑又ハ畑ニ區別シテ賦課スルコトヲ得
夫役ノ賦課ハ反別又ハ地價ヲ以テ標準ト爲スヘシ
夫役ノ各別ノ率ニ據リ小作人自作人又地主ニ賦課スルコトヲ得
本條ノ場合ニ於テハ市制第二百二十三條及町村制第二百二十七條ヲ適用セス

第六條 府縣知事ハ驅除豫防ノ爲ニ必要アルトキハ市町村費ヲ以テ溝渠ヲ
設ケ又ハ農作物、藁、刈草、雜草ヲ拔棄若クハ燒棄スルコトヲ得
本條ノ場合ニ於テハ第五條ノ規定ヲ適用ス

第七條 驅除豫防ノ必要ヨリ生シタル損害ニ對シ被害者ハ賠償ヲ要求スル
コトヲ得ス

第八條 土地所有者、管理者又ハ使用者ハ官吏及其ノ指揮ヲ承クル者ノ其
ノ地ニ入り驅除豫防ニ從事スルヲ拒ムコトヲ得ス

第九條 府縣知事又ハ郡長ハ必要ナル場合ニ於テハ府縣稅(地方稅)又ハ郡
費ヲ以テ第三條第四條第六條ノ費用ヲ補助シ若クハ驅除豫防ニ必要ナル
器具ヲ給與シ又ハ貸與スルコトヲ得

第十條 蟲類以外ノ動物ト雖農作物ヲ害スルトキ又ハ害スルノ虞アルトキ
ハ府縣知事ハ農商務大臣ノ認可ヲ經テ此ノ法律ヲ適用スルコトヲ得

第十一條 第三條ノ場合ニ於テ府縣知事ノ命令ニ從ハサル者ハ五錢以上一
圓九十五錢以下ノ科料又ハ一日以上十日以下ノ拘留ニ處ス

第十二條 第六條及第八條ニ依レル官吏若クハ其ノ指揮ヲ承クル者ノ行爲
ヲ妨害スル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金又ハ十一日以上二十日以下ノ
重禁錮ニ處ス

第十三條 此ノ法律ハ北海道、沖繩縣其ノ他市制町村制ヲ施行セサル島嶼
ニ之ヲ施行セズ別ニ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十四條 此ノ法律ハ明治二十九年四月一日ヨリ施行ス

(政府委員藤田四郎君演壇ニ登ル)
○政府委員(藤田四郎君) 簡單ニ申上ゲマスルガ此害蟲驅除豫防法案ハ曩ニ
衆議院ニ提出致サレマシテ同院ヲ通過致シテ此處ニ參リマシタモノデゴ
ザイマス、今日現行ノ田畝害蟲驅除豫防規則ト云フモノハ單ニ準則ニ止マリ
マシテ細領ヲ示シテ居ルニ過ギマセヌ、從テ此驅除ヲ怠リマシテモソレヲ驅
除セシメマシタ時ノ費用ヲ徵收スルノ途モナク、又田畝ノ害蟲ヲ驅除致シマ
スルニ附キマシテ賦課スルノ方法モ定マツテ居リマセヌ、又害蟲驅除
ノタメニ溝渠ヲ掘ツタリ稻ヲ薊取ツタリ燒棄テタリスル途モ定マツテ居リマ
セヌ又豫防ノタメニ多少田畑ヲ踏荒シタリスルニ附イテ賠償訴訟ノヤウナモ

ノガ起ルニ就イテノ規定等ガゴザリマセヌカラ實際困難致シテ居リマスノデ
アリマス、デ茲ニ此案ヲ提出致シマシタノデゴザイマスカラドウゾ能ク御贊
成下サレンコトヲ希望致シマス
○田中芳男君 一寸御質問致シタウゴザイマス、此案ハ農事上ノ改良ヲ謀リ
マスニハ最モ必要ナ事ト考ヘマス、大體ノ所ハ分ツテ居リマスガ、尙ホ承
テ置キタイ事ガゴザイマスカラ一言述べマス、成ル程此害蟲ト云フモノ、驅
除ノ出來ルト出來ザルトニ依テ世ノ中ガ凶年ニ爲ルト爲ラヌト云フ界ニ爲
リマスコトデアリマスカラ此害蟲ノ驅除ト云フ事ハ必要ナ事ト思フテ居リマ
スガ、從來ハ凶年ト云フモノニハ幾ラ金ヲ持ツテ居テモ皆餓死ヲシタヤウ
ナ世ガ有リマシタケレドモ今日ニ至リマシテハ學術ノ發達致シマシタメニ
是ハ假令氣候ガ不順デアラウトモ害蟲ノ驅除ヲ怠ラナケレバドウカ斯ウカ穀
物ノ稔ルト云フコトハ分ツテ參ッ、ソレ故近年ニナリマシテハ最早是マデノ
如ク凶年マルデ不作スルト云フ年ハ決シテ有ルモノデナイ、唯幾分カ收穫ノ
劣ル位ニ止マリ、マルデ不作ハシナイト云フヤウナ論ニナリマシタ位デ此害
蟲驅除ト云フ事ハ追々進ムニ違ヒナイ、併ナガラ此害蟲ト云フ文字ダケヲ以
テソレ一ツデ濟ンデ仕舞フト云フニ至ッテハ疑ガアリマス、如何トナレバ成ル
程害蟲ノ事ヲ追々研究ニモナツテ居リマセウカラ是ノモノハ害蟲デアル、即
チ驅除センケレバナラヌト云フコトハ何所デ研究シテ御極メニナルカ知リ
マセヌケレドモ本員ノ見込ミマス所デハ大方農事試驗所等ニ於テ追々農事試
驗ノ片手間ニ害蟲驅除ノ研究デモナサルコトデアラウカト思ヒマスガ、マダ
害蟲ノ種類ヲ定メル十分ノ研究ガ出來タトハ本員杯ハ認メマセヌ、然ルトキ
ハ此法案ガ出マスル以上ト云フモノハ農事試驗所ノ中ニ特別ニ害蟲ヲ研究ス
ル場所デモ立チマスカ、或ハ是カラシテ何處ノ農事試驗所デモ一ノ事業トシ
テ害蟲ノ研究ト云フモノヲナサルヤウニナリマセウカ、ソレガ定マリマセヌ
以上ハ今日マデ片手間デ研究シテ居ツタモノヲ以テ是ハ害蟲デアルト云フ
コトヲ定メルノハ少シク覺束ナイヤウニ思ヒマス、且ツ又害蟲ダカ何ダカ分
ラヌケレドモ一種ノ流行病ノ如キ例ヘテ言フト桑ノ萎縮病ノヤウナモノデマ
ダ彼ハ害蟲ダカ微菌ダカ或ハ固有ノ病ダカ何ダカ分ラズ仕舞デ疑問ノ中ニ在
ルモノガ有ル、是等ハ本當ノ蟲ノ形ヲ具ヘナイ以上ハ害蟲ノ中ヘ御加ヘナサ
リハシマスマイカト思フ、旁々害蟲ダカ微菌ダカ何ダカ分ラヌモノハ此害蟲
驅除豫防法案ニハ決シテ這入ルモノデハアルマイト考ヘマス、然ルニ此第十
五條ニ蟲類以外ノ他ノ動物ト云フコトガアル、蟲類以外ノ動物ト云フコトガ
アルト蟲類以外デモ動物ナレバ如何ナル種類ノ動物デモ此法律デ左右スルコ
トガ出來マセウケレドモ今ノ微菌ノ如キモノニナルト此法律デトント論ズル
コトハ出來ヌモノニナリハシナイカト云フ考モゴザイマス、其邊ニ附イテ
ハ定メテ御研究ニナツタコトデアラウト思フ、尙ホ又序ニ申シマスルガ、少
シ此法案ノ外カ知レマセヌケレドモ霜害防禦ト云フヤウナ事ガ近年大分發
明シテ來テ居リマス、昔ハ霜ノ害ト云フモノハ誠ニ恐レテ居リマシタケレドモ
之ヲ豫防スルコトハ出來ナカッタ、然ルニ近年ハ此霜ノ害ヲ豫防スル發明モ
出來テ居ル、其霜ノ害ヲ豫防スル方法ハ單ニ一地方乃至桑田ニモ施シテ他ノ
部分ニ及ブコトハナイ、ソレ等ノ事杯ハ矢張害蟲驅除豫防法ト同シヤウニ制
限ヲ何トカ立テタイト云フ本員杯ハ希望ガアリマスガ、是ハ大分違ッタ事柄デ

ゴザイマスカラ勿論豫防法ノ中ニ這入ルコトハ出來マスマイケレドモ農事上ノ發達ヲ計リマスレバ矢張此邊マデモ及シテ行カネバ十分ノ效モアルマイト考ヘマスガ其他尙ホ害蟲驅除ノ事ニ附イテハ種々ナ考モゴザイマスケレドモ先ツ以テ唯今申上マシタ事ダケヲ御答テ願ヒマス

○政府委員(藤田四郎君) 御答致シマスルガ……
○男爵榎村正直君 委員會ヲ開イテ居リマスカラ本員ハ是カラ其方ヘ……
○副議長(侯爵黑田長成君) 唯今ハ何分人數ガ少イヤウニ思ヒマスカラ暫時御控テ願ヒマス

○政府委員(藤田四郎君) 害蟲ノ種類杯ノ研究等ノ事ガ第一デゴザイマスガ此規則ヲ適用致シマスニ附キマシテ分ラナイ所ノ蟲杯ノ驅除ニ此法律ヲ適用スルコトハ到底出來ヌコトデアリマス、無論此法律ガ執行ニナリマスルニ附キマシテハ地方ニ於テ、田中サンハ最モ御承知デゴザンセウガ其地方々々ニ於キマシテ凡ツ大抵毎年流行ル所ノ蟲モ定マツテ居リマス、又極ク簡便ナル驅除ノ方法ノ出來ヌノモゴザンセウガ凡ツ分リ切ツタ方法ニ依ツテ驅除ヲ致シマシテモ以テ其田畑ノ害ヲ防イデ幾分ノ餘計ノ收穫ヲ得ルト云フコトガ出來ルノデゴザイマス、ソレデソレ等ノ事ヲ申シマシタノデゴザンセウテ又普通世ノ中ニ知レ渡ツテ居ラス所ノ害蟲ノ如キノ性質、傳染ノ狀況、害毒ノ有様ト云フヤウナ事ノ研究ハ是ハ又自ラ地方デモ致ス者モゴザンセウシ又政府デモ多少案シテ居リマスガ今日ノ所デハ固ヨリ十分ノ經費モゴザンセウ致シテ居リマスガハ自ラ此法律ヲ完全ニ布クニ就イテノ問題ノ事柄デアラウト思ヒマス、ソレカラシテ蠶菌ノ事柄ハ是ニ附イテハ種々ノ事モゴザンセウケレドモ是等ハ蠶菌ト申シマシタ以上ハ植物ノ方デゴザイマスカラ無論此法律ニ依ルベキモノデハナイ、ソレカラシテ害蟲以外ノ動物ト云フコトデゴザンセウガ是ハ蠶トカ鼠トカ云フヤウナ種類ノモノハ土地ニ依ツテ困ル所ガゴザイマス、町村ニ依リマシテ、サウ云フタメニ起リマスルノデゴザンセウテ別段其他ノ事ヲ申ス譯デハゴザイマセヌ、ソレカラ又霜害云々ト云フコトデゴザンセウガ此霜害ノ如キハ無論此法律ノ關係スル所デアリマセヌカラ左様御承知ヲ願ヒマス、尙ホ委員會ガ何レ開カル、コトデゴザンセウカラ詳細ノ事柄ハソコデ申上ゲタイト思ヒマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○村田保君 少々本員モ質問致シタ、害蟲ノ事ハ至ツテ不案内デゴザイマスガ之ヲ見マスト唯田畑ノ「農作物ヲ害スル各種ノ蟲類」ト云フコトデゴザイマスガ近來承リマスルト随分此山林杯ノ……假令ヘバ松ト云フヤウナモノニ隨分蟲ガ涌キマスト其蟲ノタメニ枯レテ仕舞フヤウナ事ガアリマス、ドウモ此山林杯ノ害蟲ハ一向構ハナイ主義デゴザイマスガ

○政府委員(藤田四郎君) 御答致シマス、是ハ前ノ蟲害規則ノ改正ト見テ宜シイノデ固ヨリ山林ニ附イテモ松蟲其他色々ゴザンセウガ是ハ此法律ノ主意デハゴザイマセヌ、又田畑ト山林トハ蟲ノ種類モ多クハ違ツテ居リマスデ自ラ規定モ別ニナリマス、又其事ヲ町村ニ負擔サセルト云フコトニ附イテハ山林ノ事ニ附イテ自ラ別ニ考ヘナケレバナラヌコトモアルダラウト思フ、ソレハ別ニ調査ヲシテ居ルカラ……此法律ハ田畑ガ主デゴザンセウカラ山林ニハ關係致シマセヌ

○三宅秀君 此田畑ニ蟲害ノ出來マスルト云フコトハ丁度人畜ノ體ニ傳染病

ガトク附クヤウナ事ト同シデアラウト考ヘマスガ就キマシテハ人ノ傳染病ニ罹ツタ時ハ醫者カラ届出ル或ハ獸畜ガ傳染病ニ罹ツタ時ハ所有者カラ届出ルト云フコトガアリマスカラ地方長官ガサウ云フ病ガ有ルコトヲ知リマスガ今此田畑ガ蟲害ニ罹ツテ居リマスル時分ニハ此第三條ニ依ツテ見マスルト「害蟲田畑ニ發生シタルトキ又ハ發生ノ虞アルトキハ府縣知事ハ豫メ期限ヲ定メ」云々トアリマスガ府縣知事ガ此蟲害ノ發シタルト云フコトヲ知リマス方法ハドウ附イテ居リマスカ、若シ此方法ガ或ハ勸業課ノ役人ガ巡查ノヤウニ廻ッテ歩イテテモ居リマスレバ地方長官ガ早ク知ルカモ知レマセヌガツレガサウデナカツタ時分ニハ何時デモ第四條ノ場合ニナツテ仕舞ツテ地方長官ガ之ヲ知ルコトガ出來ナイヤウナ手後レガ生シハシマスマイケレバ詰リ蟲害ガ田畑ニ發生シタトキニ地方長官ガ之ヲ早ク知ラナケレバナラヌト云フ方法ハ何カ附イテ居リマスカ、若シ是ガ附イテ居ラス時分ニハ即チ第四條ニ依ル如ク手後レニナラウト思フ

○政府委員(藤田四郎君) 御答致シマス、元來此驅除ノ事ハ當人自ラ驅除スルノガ第一ノ主義ニナツテ居リマス、固ヨリムヅカシイ蟲マデノ事ヲ農民ガ知ルコトハ出來ナイケレバセヌガ處々ニ依リマシテ毎年出マス所ノ蟲ハ凡ソ定ツテ居リマスカラドウ云フ蟲ガ出テドウ云フ工合ニ爲ルト云フヤウナ事ハ大抵分ツテ居リマスカラ其地方ニ於キマシテ其取締ノ道モ附キマスシ或ハ縣令ナリヲ發シテ斯ウ云フ蟲ハ驅除シナケレバ害ヲ及スカラト云フコトヲ知ラセモ致シマスシ其他人民ノ知ル道モ幾ラモ有リマセウ、固ヨリ農民ニ於キマシテハ自分ノ收穫ヲ害セラル、コトデアリマスカラ誰モ皆氣ガ附ケバヤリマス、併ナガラ中ニハ怠ル者ガ有リマスノデ其タメニ第三條ノヤウナ制限モ附ケマシタ譯デゴザンセウ、其實際ニ困ル者ハ無イ積デゴザンセウ

○水之江浩君 唯今ノ御答ニ依レバ此法案ハ田畑ノ害蟲ニシテ山林ニ關係ガナイト云フコトデゴザイマシタガ第四條ニ「田畑以外ノ地ニ發生シタルトキ」ト云フコトガアリマス此「以外」ト云フノハ一體ドウ云フ所ヲ指シマスカ
○政府委員(藤田四郎君) 御答シマスルガ此田畑ヲ害シマスル蟲類ニ致シマシテ田畑以外或ハ山林ノ脇トカ或ハ畦トカ云フ處ニソレガ居リマスルトドウシテモ田畑ノ方ヘ來ル性質ノ蟲ガゴザンセウ、ソレカラ之ヲ防ガナケレバ矢張田畑ノ損ヲ致シマスカラ其タメニ起リマスノデゴザイマス

○副議長(侯爵黑田長成君) 次ニ右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉ニ移リマス

○子爵堀田正養君 本案ノ特別委員ハ九名トシテ議長ニ於テ選定アラントヲ希望致シマス
○子爵小笠原壽長君 贊成
○角田林兵衛君 贊成

○副議長(侯爵黑田長成君) 堀田子爵ヨリ本案ノ特別委員ノ選舉ハ議長ニ一任スルト云フ勸議ガ出マシタ、此ノ勸議ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス
起立者 多數

○副議長(侯爵黑田長成君) 過半数デゴザイマス、次ニ復祿及復族祿ノ請願會議ヲ開キマス、朗讀ハ省略シマス

(左ノ意見書案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス(以下)

意見書案

復祿及復族祿ノ件

- 一 三重縣安濃郡新町平民森川光之助外二百名呈出
- 二 熊本縣八代郡八代町平民岡村傳藏外十八名呈出
- 三 東京市神田區小川町士族大越文五郎外三名呈出
- 四 愛媛縣周布郡小松村士族新名岩助外十三名呈出
- 五 東京市下谷區西馬門町士族丹羽克之助呈出
- 六 福岡縣上妻郡矢部村士族中山政人外十四名呈出
- 七 同縣御井郡國分村平民德吉儀助外二十六名呈出
- 八 同縣嘉麻郡足白村平民瀧下仲右衛門外五十八名呈出
- 九 同縣夜須郡上秋月村平民久我德市外十九名呈出
- 十 同縣同郡栗田村平民高瀬彌十郎外九名呈出
- 十一 同縣同郡秋月町平民井上新助外五十七名呈出
- 十二 京都府天田郡下川口村平民今川一郎外十七名呈出(一通)
- 十三 同府同郡曾我井村平民吉田記助外八名呈出
- 十四 福岡縣菊多郡窪田村士族秋山房次郎呈出
- 十五 福岡縣吉田郡西藤島村士族坪田彌太郎外九名呈出
- 十六 三重縣桑名郡長島村平民萩原幸三郎外二十三名呈出
- 十七 同縣同郡同村士族丹羽德次郎呈出
- 十八 同縣阿拜郡府中村平民工藤庄内外十四名呈出
- 十九 島根縣松江府南田士族土屋忠藏外五百四十名呈出
- 二十 福岡縣三潯郡鳥飼村平民一木新助外七十名呈出
- 二十一 熊本縣八代郡八代町士族澤友彦外十二名呈出
- 二十二 同縣飽田郡春日村平民三宅茂七郎呈出
- 二十三 鳥取縣河村郡東郷村平民遠藤雄藏呈出
- 二十四 同縣同郡同村平民藤井虎藏外八名呈出
- 二十五 愛知縣名古屋市上仰町士族森嘉四郎外二名呈出
- 二十六 島根縣島根郡法吉村平民野津次郎外四十六名呈出
- 二十七 福岡縣御井郡御井町平民中國穆外三名呈出
- 二十八 三重縣津市中茶屋町平民田邊敬次郎外七名呈出
- 二十九 山口縣吉敷郡山口町平民足立武之助外十三名呈出
- 三十 福岡縣福岡市因幡町平民隅田大六外十五名呈出

祿ヲ復セラレムコトヲ請願シ第七ハ士族ニ列シ祿ヲ給セラルヘキ者ナルニ其ノ族祿ヲ廢除セラル故ニ之ヲ復舊セラレムコトヲ請願シ第八ハ士籍ニ列セラルヘキ資格アルモノナレハ其ノ分限ニ復セラレムコトヲ請願シ第九第十第十一ハ士族ニ列シ祿ヲ給セラルヘキ者ナルニ其ノ族祿ヲ廢除セラレムコトヲ復舊セラレムコトヲ請願シ第十二第十三ハ其ノ族祿ヲ廢除セラレムコトヲ復舊セラレムコトヲ請願シ第十四ハ維新ノ際朝憲ニ悖リ除族沒祿ノ處分ヲ受ケシカ後大赦ニ因リ復舊ノ榮ヲ得タレハ之ニ伴フ所ノ祿ヲ給セラレムコトヲ請願シ第十五ハ其ノ族祿ヲ廢除セラレムコトヲ復舊セラレムコトヲ請願シ第十六ハ士族ニ列シ祿ヲ受ケヘキ資格アル者ナルニ其ノ族祿ヲ廢除セラレムコトヲ復舊セラレムコトヲ請願シ第十七ハ其ノ族祿ヲ廢除セラレムコトヲ復舊セラレムコトヲ請願シ第十八ハ郷士ニシテ士族ニ列セラルヘキ者ナルニ故ナクシテ民籍ニ降カレタレハ其ノ族ヲ復セラレムコトヲ請願シ第十九ハ其ノ金領差異アルカ爲他ノ同輩ノ受領シタル金祿公債證書ニ比スレハ其ノ金領差異アルヲ以テ其ノ不足ヲ追給セラレムコトヲ請願シ第二十ハ士族ニ列シ祿ヲ給セラレムコトヲ請願シ第二十一ハ其ノ下賜セラレタル金祿公債證書ノ額他同等ノ者ニ比シ少キヲ以テ之ヲ増給セラレムコトヲ請願シ第二十二ハ第二十三第二十四ハ士族ニ列シ祿ヲ受ケヘキ資格アル者ナルニ其ノ族祿ヲ廢除セラレムコトヲ復舊セラレムコトヲ請願シ第二十五ハ其ノ族祿ヲ廢除セラレムコトヲ復舊セラレムコトヲ請願シ第二十六ハ家祿ヲ奉還シタルカ爲他ノ同輩祿ヲ給セラレムコトヲ請願シ第二十七ハ家祿ヲ奉還シタルカ爲他ノ同輩者ニ比スレハ其ノ祿高ニ差異アルヲ以テ其ノ不足額ヲ追給セラレムコトヲ請願シ第二十八ハ士族ニ列シ祿ヲ給セラルヘキ者ナルニ故ナクシテ其ノ族祿ヲ併シ失ヘリ故ニ之ヲ復舊セラレムコトヲ請願シ第二十九ハ國事犯罪ニ因リ其ノ家祿ヲ沒收セラレタルモ舊藩主封土奉還ノ後ナレハ明治二十七年法律第二十號ニ準シ其ノ祿ヲ復セラレムコトヲ請願シ第三十ハ藩制改革ノ際分祿ヲ受ケ後之ヲ廢セラレハモ他同等ノ者ニシテ其ノ祿ヲ給セラレハ者アルヲ以テ同シク給與セラレムコトヲ請願スル者ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊三十一通及送付候也

明治二十九年二月 日

内閣總理大臣侯爵伊藤博文殿

貴族院議長侯爵蜂須賀茂韶

○子爵由利公正君 是ハ意見書ニアリマス通テゴザイマスカラ報告ハ省略致シマス

〔異議ナシト呼フ者多シ〕

○副議長(侯爵黑田長成君) 本意見書案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス起立者 多數

○副議長(侯爵黑田長成君) 過半数デゴザイマス、次ニ海外貿易上ノ視察實

習等保護獎勵ノ請願會議ヲ開キマス

意見書案

海外貿易上ノ視察實習等保護獎勵ノ件
大阪商業會議所會頭土居通夫呈出

右ノ請願ハ我國ハ通商貿易ヲ經營スルニ適宜ノ海國ナルニ今尙ホ不備不振ノ境域ヲ脫スルコト能ハサルハ主トシテ往時ノ鎖國主義ニ基因セシナラム維新以降百餘ノ事物長足ノ進歩ヲ爲セシニ獨リ通商貿易ハ概シテ自然ニ任シ之ヲ利導保護スノ方策ナキハ豈遺憾ナラスヤ今ヤ世界ノ商戰上輸贏ヲ決スヘキ時ニ方リ國民ヲ鼓舞シ勝テ世界ノ商戰場裏ニ制セシムルノ風ヲ養成スルト同時ニ適宜ノ人材ヲ海外ヘ派遣シテ商業上ノ智識ヲ實況ヲ觀察セシメ或ハ有爲少壯ノ徒弟ヲ通商地ニ派駐シテ商業上ノ智識ヲ實況ヲ觀察セシメ或ク世界ノ重要市府ト交換通信ノ道ヲ開キ通商貿易上參考ニ資スヘキ材料ヲ蒐集調査セシムル等ノ幾多ノ方策ヲ實施シ以テ我カ貿易事業ヲシテ能ク健全鞏固ナラシムルコトヲ圖ラサルヘカラス然レトモ此ノ事業タル固ヨリ一朝一夕ニシテ成效ヲ期スヘキニアラス又僅少ナル資金ヲ以テ遂行ヲ望ムヘキニアラサレハ幸ニ目下商業協會ナルモノヲ組織スル者アリ政府ニ於テ適宜ノ方法ニ依リ當初數年間ヲ期シテ相當ノ補助ヲ與ヘ以テ其ノ成效ヲ期シ通商貿易上ノ實利ヲ收メシメラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也
明治二十九年二月 日
貴族院議長侯爵蜂須賀茂韶

内閣總理大臣侯爵伊藤博文殿

○副議長(侯爵黑田長成君) 御異議ハゴザイマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者多シ〕

○副議長(侯爵黑田長成君) 然ラバ原案ニ決シマス、郡換ノ請願會議ヲ開キマス

意見書案

郡換ノ件

栃木縣足利郡富田村平民岡部幾次郎外二十四名呈出
右ノ請願ハ栃木縣足利郡富田村ハ郡ノ最東部ニ位シ其ノ字駒場ハ又木村ノ最東部ニ在リ地勢山脈連互シテ中央ヲ遮斷シ本字ハ脈東ニ在リテ全ク別部落ヲ成シ安蘇郡ニ突入スルヲ以テ民情又隣郡ニ親染シ却テ同村ノ字多田木迫間奥戸等ニ疎隔ナル如シ故ニ從來ノ關係將來ノ利害等ヨリシテ安蘇郡ニ編入セラレムコトヲ望ムヤ久シク其ノ希望一朝一夕ニアラサレハ同村稻岡寺岡西場ト同ク速ニ郡換ノ處分ヲ請フトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也
明治二十九年二月 日
貴族院議長侯爵蜂須賀茂韶

内閣總理大臣侯爵伊藤博文殿

○副議長(侯爵黑田長成君) 是レ亦原案ニ決シマス、地價修正ノ請願會議ヲ開キマス

〔異議ナシト呼フ者多シ〕
○副議長(侯爵黑田長成君) 是レ亦原案ニ決シマス、郡獨立ノ請願會議ヲ開キマス

意見書案

郡獨立ノ件

島根縣仁多郡阿井村平民櫻井三郎右衛門外二百五十二名呈出
右ノ請願ハ島根縣仁多郡ハ大原郡ト合シテ一行政區ノ下ニ在リト雖歷史ノ沿革土地ノ狀況及人情等自カラ別天地ヲ成シ他郡ト同一ノ制度ノ下ニ立ツヘカラサルモノアリ殊ニ郡役所ノ所在懸隔シテ往來ノ不便アルノミナラス郡衙ト町村トノ關係上不都合ヲ生スルコト尠カラズ兩郡ノ關係ニ於ケルモ今後自治機關ノ整備スルニ隨ヒ益々軋轢ノ度ヲ高メ本郡民ノ不幸ヲ增加スヘシ而シテ本郡ハ獨立自治ノ體ヲ具フルニ足リ大原郡モ亦獨立自治ノ資力ニ乏シカラス故ニ本郡ノ爲獨立郡制ヲ施行セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也
明治二十九年二月 日
貴族院議長侯爵蜂須賀茂韶

内閣總理大臣侯爵伊藤博文殿

○副議長(侯爵黑田長成君) 是レ亦原案ニ決シマス、朝鮮國貿易品積卸港開設ノ請願會議ヲ開キマス

意見書案

朝鮮國貿易品積卸港開設ノ件

島根縣那賀郡濱田町平民竹川富三郎外四十九名呈出
右ノ請願ハ石見國濱田港ハ朝鮮國ト相對シ其ノ距離最モ近シ故ニ該港近傍ノ漁民ハ常ニ朝鮮近海ニ漁シ彼我ノ物品ヲ貿易スルノ利アルヲ知リ朝鮮ノ漁民モ亦暴風怒濤ニ際シ濱田近海ニ漂流スルコト多シ然ルニ該港ハ未ダ稅關ノ設ナク貿易品積卸ノ自由ヲ得サルヲ以テ徒ラニ數百里ノ遠地ニ回航シ或ハ濱田ニ歸航シ再ヒ遠ク馬關ニ至リ諸般ノ手續ヲ了シ更ニ歸リテ物貨ヲ石見地方ニ輸セリ其ノ煩勞迂回ニシテ彼我貿易ヲ障礙スルコト甚シケレハ濱田港ヲ以テ朝鮮貿易品積卸港ト定メラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也
明治二十九年二月 日
貴族院議長侯爵蜂須賀茂韶

内閣總理大臣侯爵伊藤博文殿

○副議長(侯爵黑田長成君) 是レ亦原案ニ決シマス、地價修正ノ請願會議ヲ開キマス

〔異議ナシト呼フ者多シ〕
○副議長(侯爵黑田長成君) 是レ亦原案ニ決シマス、地價修正ノ請願會議ヲ開キマス

意見書案

地價修正ノ件

三重縣桑名郡長島村平民近藤彦次郎外百五十四名呈出
右ノ請願ハ長島村ハ水會揖斐兩大河ノ中央ニ位スル低地ニシテ明治二十四
年大震災ノ際土地陷落シ荒蕪又用ニヘカラサルニ至リタルヲ以テ特ニ五箇
年間減稅ノ恩命ヲ蒙レリ爾來勉勵シテ其ノ回復ヲ企圖セシニ二十六年八月
洪水暴風雨ノ害ヲ被リ其ノ慘狀名狀スヘカラス村民ノ困弊殆ト極度ニ達シ
タルヲ以テ猶ホ向三箇年間低地價據置ノ儀ヲ大藏省及縣知事ニ歎願セシモ
未ダ願意ヲ達セス隣村木曾岬及伊曾島村ノ如キハ出水ノ當時免租年限等更
正セラレタリ然ルニ本村ニシテ依然現地租稅ヲ納附スルハ民力ノ能ク堪ル
所ニ非レハ二十五年法律第一號第五條ニ據リ現地價ヲ修正セラレタシトノ
旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第
六十五條ニ依リ別冊及送付候也
明治二十九年二月 日

內閣總理大臣侯爵伊藤博文殿

貴族院議長侯爵蜂須賀茂韶

〔異議ナシ〕ト述フル者多シ

○副議長(侯爵黑田長成君) 是レ亦原案ニ決シマス、特別地價修正ノ請願會
議ヲ開キマス

意見書案

特別地價修正ノ件

三重縣多氣郡五ヶ谷村平民坂口久米藏外三百九十四名呈出
右ノ請願ハ往時櫛田川ノ上流飯高郡粥見村字立梅ニ一大井堰ヲ設置シ灌溉
ノ用ニ供シ其ノ改修費ハ藩廳ノ負擔タリシニ地租改正ノ際舊價ヲ廢セラレ
爲メニ過重ノ地價ヲ附セラレタルノ形ヲ成セリ爾來每年平均一反歩金貳圓
餘ノ水利費ヲ要シ年々逐テ困難ノ淵ニ沈淪シ良田ヲ變シテ畑地トナシ井堰
ノ負擔ヲ免レントスルモノアリ斯ノ如クニシテ經過セハ水掛耕地ハ自然荒
蕪ニ歸シ地方人民凋零廢滅スヘシ故ニ五ヶ谷丹生二村ノ地價ヲ特別ニ修正
セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致
候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也
明治二十九年二月 日

內閣總理大臣侯爵伊藤博文殿

貴族院議長侯爵蜂須賀茂韶

〔異議ナシ〕ト述フル者多シ

○副議長(侯爵黑田長成君) 原案ニ決シマス、官線鐵道事業改良ニ關スルノ
請願會議ヲ開キマス

意見書案

官線鐵道事業改良ニ關スル件

四日市商業會議所會頭井島茂作呈出
右ノ請願ハ商工業ノ發達ハ通運機關ノ敏活ヲ要ス然ルニ東海道官設鐵道線
路ハ依然トシテ舊觀ヲ改メス故ニ旅客ノ不便運送貨物ノ滯留甚シク往々商
機ヲ失シ貨物ノ損傷ヲ來ス事アリ是レ舊ニ複線ノ設ナキノミナラス現在ノ
單線ニ對シテモ車輛ノ數缺乏スルニ由ルナラム故ニ之カ改良擴張ヲ圖リ蝟
集輻湊スル貨物運搬ノ滯留ヲ除クニ至ラハ大ニ商工業ノ利便ヲ發達スルト
同時ニ其ノ營業收入ヲ增加スヘキヲ以テ速ニ複線ヲ敷設シ車輛ヲ增加シ事
業改良擴張ヲ圖ラシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキ
モノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也
明治二十九年二月 日

內閣總理大臣侯爵伊藤博文殿

貴族院議長侯爵蜂須賀茂韶

〔異議ナシ〕ト述フル者多シ

○副議長(侯爵黑田長成君) 是レ亦原案ニ決シマス、軍人軍屬從軍病死者遺
族扶助料又一時賜金ニ關スルノ請願會議ヲ開キマス

意見書案

軍人軍屬從軍病死者遺族扶助料又一時賜金ニ關スルノ件

福島縣河沼郡坂下町士族關成章外十五名呈出
同縣宇多郡中村町士族木幡清外二十三名呈出
右ノ請願ハ陸海軍軍人軍屬及之ニ準スヘキ雇員軍夫等ニシテ明治二十七八年
ノ戰役ニ從軍シ病ヲ得テ死亡シタルモノハ公務ニ原因シタルモノヲ除クノ
外ハ法律第四十五號又ハ勅令第六十四號ノ恩典ニ浴スルコトヲ得ス然ル
ニ其ノ實際ノ狀況ヲ熟察スルニ平病ヲ得テ死亡シタルモノニシテ生前勤勞
アリ戰死若クハ公務ニ原因シテ死シタル者ト情ニ於テ毫モ異ナルナキモ
之ヲ賞表スルノ途ナキハ其ノ權衡ヲ得タルモノト謂フヘカラス苟モ是等ノ
者ヲ待ツノ恩典ナキハ我國國民獨特ノ義氣ヲシテ益々將來ニ振起セシメ國家
千歲ノ鞏固ヲ維持スルノ道ナラムヤ故ニ此ノ不幸ナル遺族者ノ爲ニモ相當
ノ方法ヲ設ケ扶助料又一時賜金給與ノ恩典ヲ實施セラレタシトノ旨趣ニ
シテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五
條ニ依リ別冊二通及送付候也
明治二十九年二月 日

內閣總理大臣侯爵伊藤博文殿

貴族院議長侯爵蜂須賀茂韶

〔異議ナシ〕ト述フル者多シ

○副議長(侯爵黑田長成君) 是モ原案ニ決シマス、電信局設置ノ請願、會議
ヲ開キマス

意見書案

電信局設置ノ件

島根縣安濃郡大田村平民守橋虎之助外二十三名呈出
右ノ請願ハ島根縣安濃郡大田村ハ石州東部ノ名邑ニシテ國道東西ニ通シ四
至ノ要路ニ當リ沿海各地ノ海產及蠶絲ヲ初メ海陸ノ商業益々擴張シ取引頻
繁ヲ來シ電信ニ據テ辨スル緊急ノ要件日ニ其ノ多キヲ加フルニ至ル然ルニ

未タ電信局ノ設ナキヲ以テ其ノ不便甚シク交通機關ノ缺乏遂ニ地方ヲシテ萎縮セシムルノ憂患洵ニ至大ナレハ速ニ電信局ヲ設置セラレタク而シテ其ノ創設ノ費用ハ會計法ノ許ス限リハ請願人等之ヲ負擔スヘシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治二十九年二月 日

貴族院議長侯爵蜂須賀茂韶

内閣總理大臣侯爵伊藤博文殿

〔異議ナシト述フル者多シ〕

○副議長(侯爵黒田長成君) 是レ亦原案ニ決シマス、古社寺保存會組織ニ關スルノ請願會議ヲ開キマス

意見書案

古社寺保存會組織ニ關スル件

奈良縣吉野郡川上村平民土倉庄三郎外六十一名呈出
右ノ請願ハ我邦ノ美術ノ靈光今ニ於テ赫灼タルモノ洵ニ神佛崇拜ノ内ニ精華ヲ收メタルモノニシテ其ノ妙趣ハ專ラ神社佛閣ニ依リテ表彰セララルニ時勢ノ變遷ト共ニ數千年來ノ名祠巨刹モ頽敗寶器佳什モ散佚缺損シ本邦美術ノ精華ハ湮滅ニ歸セントス故ニ其ノ保存ヲ講スルハ實ニ刻下ノ急務ナリ然ルニ國庫經濟ニ社寺保存ノ費目ナキニ非サルモ僅少ナル金額能ク其ノ目的ヲ達スル能ハサレハ實歴アル專門ノ識者貴衆兩院ノ議員及ヒ社寺關係ノ人ヲ以テ古社寺保存會ヲ組織シ此急務ニ應ジシメラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治二十九年二月 日

貴族院議長侯爵蜂須賀茂韶

内閣總理大臣侯爵伊藤博文殿

〔異議ナシト述フル者多シ〕

○副議長(侯爵黒田長成君) 是レ亦原案ニ決シマス、先刻本席へ御委託ニ相成リマシタ害蟲驅除豫防法案ノ特別委員ヲ選定致シマシタニ依ッテ其氏名ヲ書記官長ヲシテ朗讀致サセマス

〔中根書記官長朗讀〕

害蟲驅除豫防法案特別委員

- 侯爵松平 康 莊君 伯爵小笠原忠 忱君 子爵松平 康 民君
- 男爵渡邊 清君 柴原 和君 三宅 秀君
- 田中 芳男君 村田 保君 神戶 政次君

○副議長(侯爵黒田長成君) 明日ノ議事日程ヲ御報告ニ及ビマス、午前十時開議、第一、侯爵中山孝齋君請願ノ件、第二、明治二十九年年度歳入歳出總豫算追加案(甲)政府提出、衆議院送付、會議、豫算委員長報告、第三、鎖店銀行紙幣交換基金特別會計法第五條中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、特別委員長報告、第四、北海道鐵道敷設法案、公爵近衛篤磨君外二名發議、第一讀會ノ續、特別委員長報告、第五、博物館設立ノ建議案、

田中芳男君發議、會議、第六、海上遭難船舶救護ニ關スル建議案、公爵近衛篤磨君外二名發議、會議、本日ハ散會
午後零時二十三分散會